

競技注意事項

- 1 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則によって実施する。
- 2 開・閉会式は行わない。
- 3 招集はトラック競技は20分前、フィールド競技は30分前に完了すること。（一次招集は行わない）招集場所については、トラック競技は招集場でフィールド競技については現地で行う。
- 4 競技について
 - (1) スタートは1回目の不正スタートで失格とする。合図はイングリッシュコマンドを使用する。
 - (2) トラック競技は全てタイム決勝とする。
 - (3) 走幅跳、砲丸投、円盤投、ジャベリックローは3回の試技のみとする。

5 競技上の規定及び方法

2019年度日本陸上競技連盟競技規則によるもののほか次による。

(1) 年齢区分 下記の通り3区分とする

- A (高校1年) 2004年1月1日生～2004年4月1日生
(中学3年) 2004年4月2日生～2004年12月31日生
- B (中学3年) 2005年1月1日生～2005年4月1日生
(中学2年) 2005年4月2日生～2005年12月31日生
- C (中学2年) 2006年1月1日生～2006年4月1日生
(中学1年) 2006年4月2日生～2007年4月1日生

(2) ハードル種目の規定

男 子			女 子		
種 目	高 さ	ハードル間	種 目	高 さ	ハードル間
A 1 1 0 m H	0.991m	9.14m	A 1 0 0 m H	0.762m	8.50m
B 1 1 0 m H	0.914m	9.14m	B 1 0 0 m H	0.762m	8.00m

(3) 投てき物の重量

男 子		女 子	
種 目	重 量	種 目	重 量
A 砲丸投	5.0kg	A 砲丸投	4.0kg
B 砲丸投	4.0kg	B 砲丸投	2.721kg
学年共通円盤投	1.5kg	学年共通円盤投	1.0kg

6 その他

- ①選手は、学校名のナンバーカードを胸背部につけること。
ただし、走高跳・走幅跳、棒高跳の選手は胸・背のどちらかにつけること。
- ②1500m以上の種目に出場する選手は、招集場で別に数字のナンバーカードを受け取り、胸背部（1500mは胸のみ）に付けること。
- ③トラックに出場する選手は招集場で腰ナンバー標識を受け取り、右腰やや後方部へつけること。
競技終了後、フィニッシュ地点で係員へ返却する。

7 参加校から1名以上の競技役員の協力をお願いします。